

# 拠点は「金木観光物産館」 津軽弁など豊富な観光資源を活かす

【組合名】  
協同組合金木あすなる商店会  
(五所川原市)

## 当組合の概要

平成4年11月24日設立。金木町に事業場を有する小売業、サービス業、不動産業のいずれかを行う小規模の事業者で構成されています。主な事業として、共同売出及び共同宣伝、共通商品券の発行、金木観光物産館の運営及び管理を行っています。

## 特産品の紹介と開発の経緯

### つがる弁付箋セット

ふだん何気なく使っている付箋に、津軽弁をプラス。ユーモアのある付箋セットです。

### 津軽弁3Pメモ帳

使いやすい大きさでお土産にもぴったりなメモ帳セット。用途別に選べる3種類のデザインです。



津軽弁をテーマにした「つがる弁付箋セット」は「青函DC～青森・津軽の旅」応援企画として作製しました。津軽弁シリーズ第2弾「津軽弁3Pメモ帳」同様、旅先でもすぐ使える言葉を選び、旅先から戻った後の話題作りにもなるよう工夫しました。

全国の人たちにより津軽弁を知ってもらいたいと思い、日常で何気なく使っているアイテムで津軽弁に触れ合えるよう、津軽ならではの土産として企画しました。

## 今後の事業展開について

今後も引き続き、金木観光物産館の運営・管理及びオリジナル商品の開発と、組合員の取扱品の共同売出及び宣伝、共通商品券の発行などを行い、金木の振興に努めていきます。



## 協同組合金木あすなる商店会

所在地 五所川原市金木町朝日山195-2  
金木観光物産館「マディニー」内  
TEL 0173(52)2878  
代表理事 長内孝臣  
組合員数 19名

## 【紹介した特産品のお問い合わせ先】

協同組合金木あすなる商店会  
同左 URL <http://www.madeny.jp>

# 「鰐come」を拠点に、町の産品と 地域活性化を図る

【組合名】  
プロジェクトおおわに事業協同組合  
(大鰐町)

## 当組合の概要

2007年、このふるさとをなんとか元気にしたい!との思いから、民間のまちおこしグループ「OH!!鰐 元気隊(おおわにげんぎたい)」を結成し、約200名の隊員と共に活動してきましたが、2009年11月、同町が「大鰐町地域交流センター 鰐come」の指定管理者を募集することになり、有志9名の出資により現在の「プロジェクトおおわに事業協同組合」を設立しました。

当組合は、コミュニティビジネスを通じて「地域の活性化」を基本精神に持ち、「サービス世界一」を目標に、鰐comeだけでなく、町全体が元気になり、この町に生まれてよかった、住んでよかったと思えるような町づくりへの貢献を目指し活動しています。

## 特産品の紹介と開発の経緯

### 大鰐産 青森シャモロック

「青森シャモロック」は、青森県畜産試験場養鶏部によって、最高品質の肉用地鶏を目指し、研究・開発され誕生しました。

肉のきめが細かく、濃厚な味わいを持つ青森県産の横斑シャモ「在来種由来血液百分率100%」を父親にもち、肉質に優れ、出汁がよく出る横斑プリマスロック「在来種由来血液百分率50%」を母親に、両品質の優れた肉質と旨みを併せ持ちます。

## 今後の事業展開について

大鰐町の情報発信や農商工そして観光など、

すべての分野の拠点として、わが町のたくさんの素晴らしい産品を「おおわにブランド」として世界に発信していくことで、次世代の子どもたちに自信をもって手渡せる夢と希望に満ちた「大鰐町」を実現すべく活動していきたいと考えています。

また、昨年度、内閣府の「地方創生加速化交付金」により、大鰐町・大鰐温泉もやし生産組合・当組合で創設した「大鰐温泉もやし増産推進委員会」と連携し、各種イベントの開催や地場産品のブランド化・6次産業化の強化を図っています。

さらに、当組合の活動拠点である「鰐come」の強化を図るため、温泉・産直・レストランの内容を充実させ、地域活性化と町の更なる振興に努めてまいります。



## プロジェクトおおわに事業協同組合

所在地 南津軽郡大鰐町大字大鰐字川辺11-11  
TEL 0172(49)1126  
代表理事 八木橋孝男  
組合員数 75名

## 【紹介した特産品のお問い合わせ先】

有限会社大鰐振興  
南津軽郡大鰐町蔵館湯ノ沢4-3 TEL 0172(47)9040